Coronis Fusion 4MP/6MP

ユーザーガイド

BARCO

Visibly yours

(このページは空白です)

ようこそ！

CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイをお買い求めいただきありがとうございます！

Coronis Fusion は、画像診断における柔軟性と生産性をさらに強化するために開発された創意に満ちた PACS ディスプレイシステムです。

2 面タイプのシームレスなモニター面として、または 1 面タイプのワイドスクリーンディスプレイとして利用可能な業界初となる 30 インチのカラー LCD を搭載する Coronis Fusion では、作業場を思い通りにレイアウトできます。本ディスプレイでは、CT、MR、エコー画像、カテーテルや心エコー画像、またはその他の組み合わせを 1 台の診断スクリーン上で隣り合わせて読影することが可能です。

Coronis Fusion では、最新かつ画期的な IPS 方式（IPS-Pro)LCD 技術を採用しています。この技術は最先端の LCD 画像表示特性を市場にもたらし、輝度やコントラスト、さらには視野角の広さにおいても新しい業界標準を打ち立てています。

本書の指示に従って CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイを取り付けたら、その類い無い機能を存分に体験してみてください！

本書では次の記号を使用しています。

WARNING	警告 : 人的損傷の危険		注意 : 製品損傷の危険
	重要な通知または注目点		注
	ヒント、コツ		追加情報

CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイを使い始める前に、ページ 53 から始まる安全情報をすべてお読みください。

(このページは空白です)

目次

内容物概要 7

ディスプレイポート、コントロール、接続 9

正面図 9

背面図 10

ディスプレイのインストール 13

カバーを取り外す 13

高さ調整システムのロックを外す 15

ディスプレイの位置を調節する 16

信号ケーブルを接続する 17

電源ケーブルを接続する 18

ケーブルを取り回す 18

カバーを元の場所に取り付ける 19

VESA マウントの取り付け 20

初めて起動する際には 22

日常の操作 23

ディスプレイシステムの使用に関する推奨事項 23

スタンバイに切り替える 25

OSD メニューを表示する 25

OSD メニュー内を移動する 26

OSD メニュー内で選択する 27

OSD メニュー内の値を変更する 27

便利なメニューおよび機能 29

情報メッセージ 29

オンスクリーンディスプレイ (OSD) 31

表示モードを変更する 41

ユーザーコントロールを有効 / 無効にする 41

電源 LED のオン / オフを切り替える 43

DPMS のオン / オフを切り替える 43

ディスプレイファンクションの変更 44
ディスプレイのお手入れ 51
フロント画面 51
キャビネット 52
重要なお知らせ 53
安全情報 53
環境情報 56
法令順守情報 59
記号の説明 61
法的免責事項 62
技術仕様書 63
保証規定 69

内容物概要

CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイの付属品は次の通りです。

- 本 CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイガイド
- システム CD x 1 枚
- DVI ケーブル x 2 本
- USB ケーブル x 1 本
- AC 電源コード一式
- 外部電源

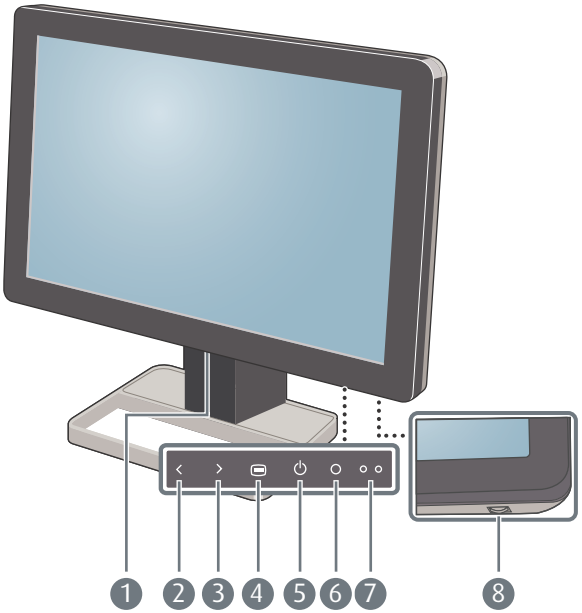
Barco ディスプレイコントローラーをご注文された場合、アクセサリー類も一緒に同梱されています。専用ユーザーガイドのシステム CD もご利用いただけます。

購入時に使用されていた梱包材を保管しておいてください。お手元の梱包材はこのディスプレイのために作られたものですので、輸送時には最適な保護機能を発揮します。

(このページは空白です)

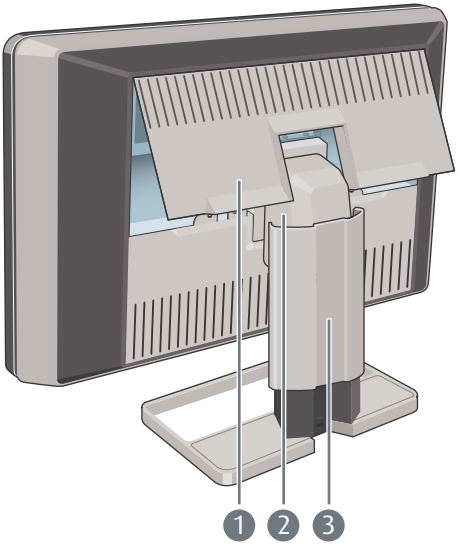
ディスプレイポート、コントロール、接続

正面図



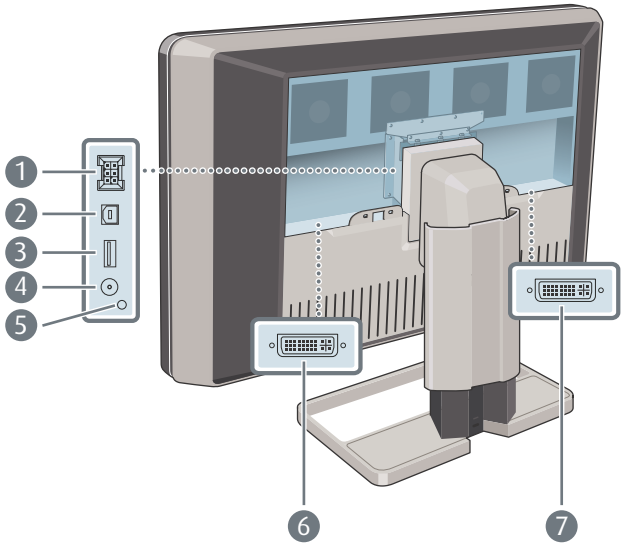
1	USB ダウンストリーム端子	2	左 / 下キー
3	右 / 上キー	4	入力キー
5	スタンバイキー	6	周囲光センサー
7	電源ステータスインジケータランプ	8	調節用ツマミ

背面図



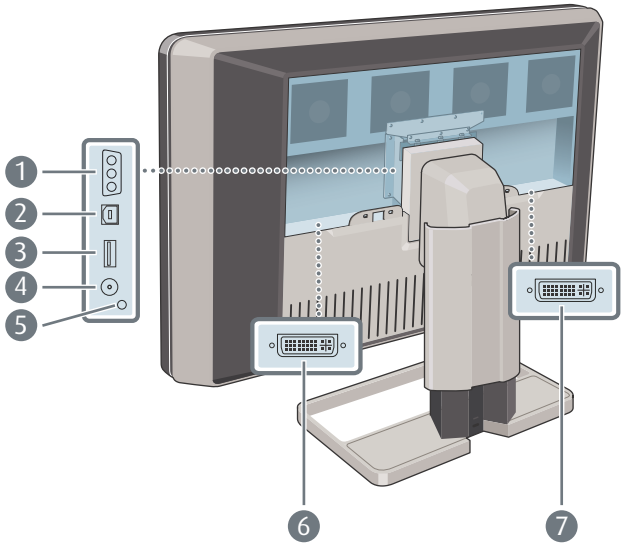
1 端子コンパートメントカバー	2 ネックカバー
3 ディスプレイスタンドカバー	

CORONIS FUSION 4MP



1	+24 VDC 電源入力	2	USB アップストリーム端子
3	USB ダウンストリーム端子	4	+5 VDC、0.25 A 電源出力、アクセサリー用
5	+3.3 VDC、0.25A 補助電源出力	6	DVI 1 ビデオ入力
7	DVI 2 ビデオ入力		

CORONIS FUSION 6MP



1	+24 VDC 電源入力	2	USB アップストリーム端子
3	USB ダウンストリーム端子	4	+5 VDC、0.25 A 電源出力、アクセサリー用
5	+3.3 VDC、0.25A 補助電源出力	6	DVI 1 ビデオ入力
7	DVI 2 ビデオ入力		

ディスプレイのインストール

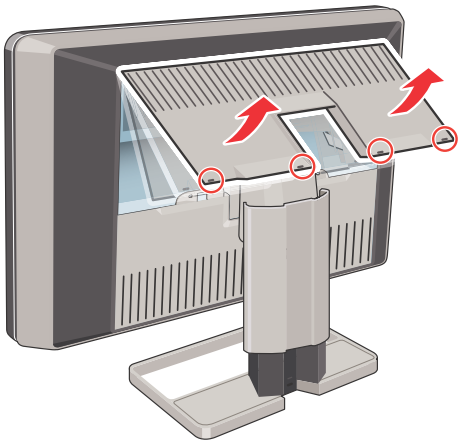
CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイを設置して必要なケーブル類を接続する前に、ご使用のコンピュータに適当なディスプレイコントローラーが物理的に取り付けられていることを確認します。Barco ディスプレイコントローラーを使用している場合、製品に同梱されている専用ユーザーガイドのシステム CD で確認して取り付けてください。

カバーを取り外す

端子コンパートメントカバー

端子部にて作業するには、端子コンパートメントカバーを取り外す必要があります。カバーを取り外すには、次の手順を実行します。

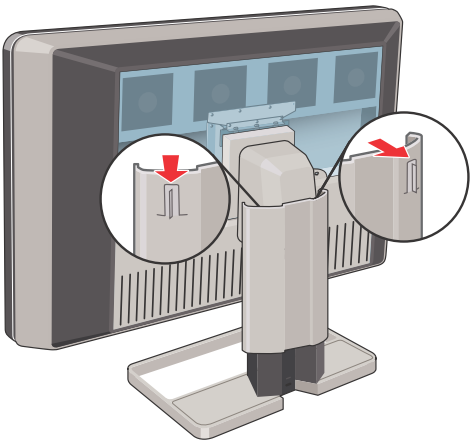
1. 端子コンパートメントカバーのつまみ部分のクリップをそっと持ち上げ、カバーを起こします。
2. カバーの反対側も同様に行います。
3. カバーを取り外します。



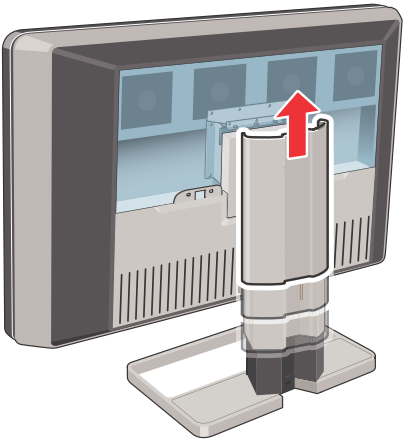
ディスプレイスタンドカバー

ケーブルルーティングチャンネルにて作業するには、ディスプレイスタンドカバーを取り外す必要があります。手順は以下の通りです。

1 カバー内側上部のクリップをそっと押し、そのままの状態を保ちます。



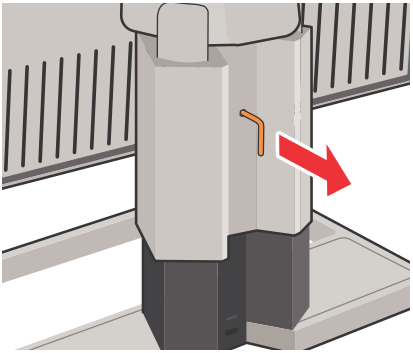
2 クリップを押したままの状態で、カバーを上方にスライドさせます。



高さ調整システムのロックを外す

工場出荷時には、輸送中に製品が損傷するのを防ぐため赤いフックでディスプレイスタンドの高さ調整システムをロックしています。ディスプレイの高さを調整する前に、このフックを取り外してください。

1 ディスプレイパネルを下に抑えたまま、ディスプレイスタンドの赤いフックを引いて取り外します。

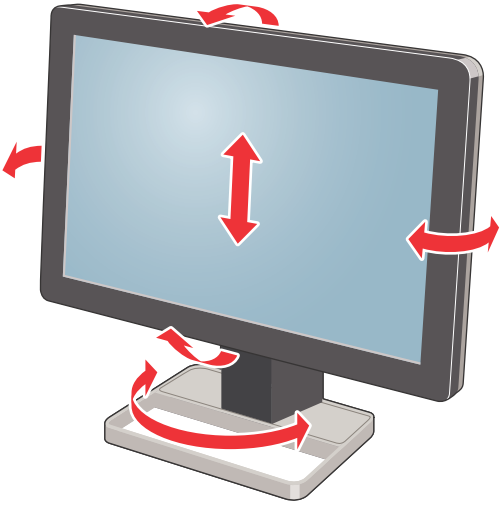


将来持ち運ぶ場合に備えて、フックは保管しておきます。短い方のフックの赤い端をディスプレイのスタンド内に差し込んでおきます。

ディスプレイの位置を調節する

これで、ディスプレイの高さ調整システムのロックは解除されました。お好みに応じてディスプレイを傾けたり、旋回させたり、上げ下げできます。

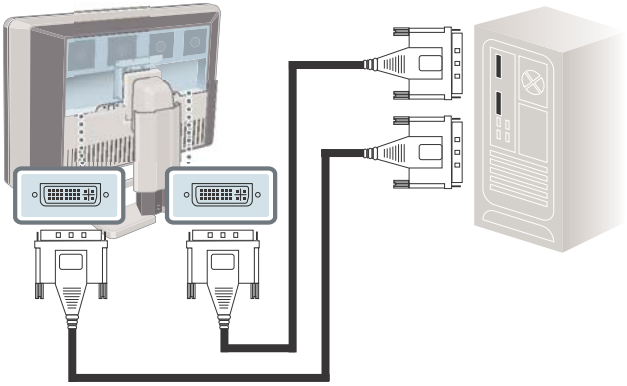
⚠ スタンドに取り付ける際は、ディスプレイを回転させないでください。回転させると、ディスプレイやスタンドに大きな損傷が及ぶことがあります。



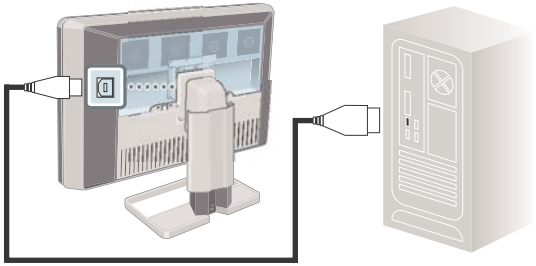
信号ケーブルを接続する

1 同梱の DVI ケーブルのいずれか 1 本を使って、ディスプレイコントローラーの片側のコネクターを DVI 1 端子に接続します。

2 同梱の DVI ケーブルのいずれか 1 本を使って、ディスプレイコントローラーの片側のコネクターを DVI 2 端子に接続します。



3 ディスプレイの USB ダウンストリーム端子を利用したい場合、同梱の USB 2.0 ケーブルを使用して PC USB ダウンストリーム端子とディスプレイの USB アップストリーム端子を接続します。



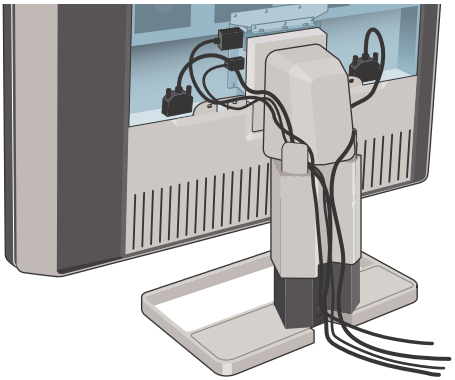
電源ケーブルを接続する

1. 同梱の外部 DC 電源を CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイの +24 VDC 電源入力に接続します。
2. 外部 DC 電源の他方は、パッケージに同梱されている電源コードを利用して**アース付き**コンセントに差し込みます。

ケーブルを取り回す

端子に接続したケーブルはすべて、ディスプレイのスタンド内のルーティングチャンネルを通して取り回します。

端子コンパートメントの内側にあるケーブルストラップにより、ケーブルを固定しケーブルのシールディングを高めることができます。

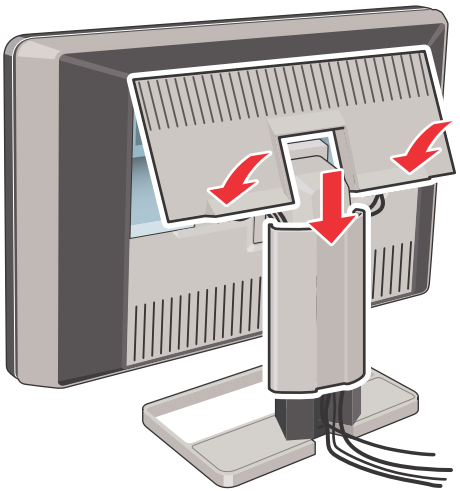


カバーを元の場所に取り付ける

1 ディスプレイスタンドカバーを下方向にスライドさせて再度取り付けます。ディスプレイスタンドカバーが所定の位置に収まると、カバーのクリップが「カチッ」という音を立てます。

> カバーを取り付ける間、すべてのケーブルがケーブルチャンネル内に収まるよう気を配ります。

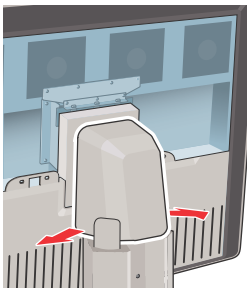
2 カバーの上部を所定の位置にスライドさせて端子コンパートメントカバーを再度取り付けてから、カバーの下部を押します。ディスプレイスタンドカバーが所定の位置に収まると、カバーのクリップが「カチッ」という音を立てます。



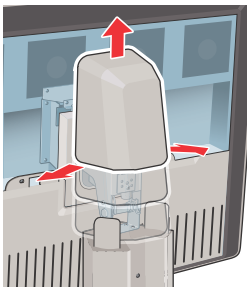
VESA マウントの取り付け

標準的にスタンドに取り付けられているパネルは、VESA 100 mm 規格に対応しています。従って、VESA が承認するアームと併せてパネルを使用できます。本章ではパネルをスタンドから取り外す方法と、アームに取り付ける方法を説明します。アームを使用しない場合、本章は読み飛ばしていただいてかまいません。

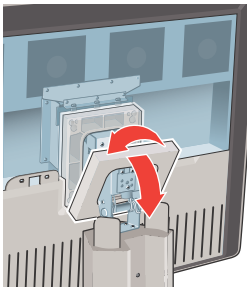
1 カバー下部の両側をそっと手前に持ち上げます。



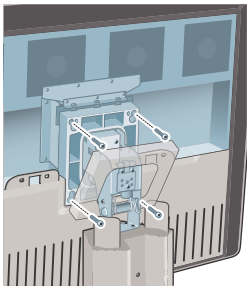
2 カバー下部を手前に引いた状態のまま、上にスライドさせます。



3 スタンドに対して、パネルの固定部分を覆っているプラスチックフレームを持ち上げます。フレームを 45 度回転し、固定ねじを取り外します。



4 パネルをスタンドに固定している 4 本のねじを取り外します。



5 M4 x 10 mm のねじ 4 本を使用して、パネルをアームに**しっかり**取り付けます。
これで、パネルは横方向になるはずです。縦方向の取り付けはサポートしていません。

> ⚠ アームは、最低でも 18 kg (39.68 lbs) の重さに耐えられるものを使用します。この重みを支えることができないアームを使用すると、パネルが落下し大人や子供が重傷を負ったり、機器が大きく損傷する恐れがあります。

初めて起動する際には

これで、CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイシステムを初めて起動する準備が整いました。

1. **“スタンバイに切り替える”** ページ 25 の説明に沿って、CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイの電源を入れます。
2. ディスプレイに接続しているコンピュータの電源を入れます。

ディスプレイとディスプレイコントローラが正しく取り付けられている場合、ブート手順が終了すると Windows スタートアップメッセージが表示されます。

初めて起動する際、CORONIS FUSION 4MP/6MP ディスプレイはデフォルトのリフレッシュレートでベーシックビデオモードとして起動します。
Barco ディスプレイコントローラーを使用している場合、製品に同梱されているユーザーガイドシステム CD で確認してドライバー、ソフトウェア、ドキュメンテーションをインストールしてください。インストールが完了すると、ディスプレイは接続されているビデオ信号を自動的に検知し正しいビデオモードとリフレッシュレートを適用します。

日常の操作

ディスプレイシステムの使用に関する推奨事項

ディスプレイの寿命を最大限に延ばす

ディスプレイのディスプレイ電源管理システム (DPMS) を有効にすると、ディスプレイを使用しない状態がある一定時間に達すると自動的にバックライトが消えますので診断寿命を最大限に延ばせます。デフォルトではディスプレイの DPMS は有効になっておりますが、ワークステーション側でもこの機能を有効にする必要があります。この設定を実行するには、[コントロールパネル] の [電源オプションのプロパティ] を使用します。

Barco では、未使用状態が 20 分を経過した時点で DPMS が起動するように設定することを推奨しています。

画像リテンションを防ぐために、スクリーンセーバーをご使用ください。

LCD で、同一の画面領域に静止画像を長時間表示させていると、一種の画像リテンションを引き起こす恐れがあります。

スクリーンセーバーを使用することで、画像リテンションの発生を防いだり、この現象を大幅に抑えることが可能です。スクリーンセーバーは、ご使用のワークステーションの [ディスプレイのプロパティ] ウィンドウで設定できます。

Barco では、未使用状態が 5 分を経過した時点でスクリーンセーバーが起動するように設定することを推奨しています。スクリーンセーバーによっては、物体やテクスチャが画面上を移動するものもあります。

静止画素を用いた同じ画像やアプリケーションを連続的に数時間にわたり読影する場合（スクリーンセーバーは未起動）、静止画素の画像リテンションを防ぐために画像内容を定期的に変更してください。

ピクセル技術を理解する

LCD ディスプレイではピクセルに基づく技術を採用しています。LCD の製造における従来の許容誤差として、ある限定されたピクセル数は　製品の診断性能に影響を与えることなく、暗くなるか恒久的に照らされた状態を保ちます。最適な製品品質を得るために、Barco では LCD パネルに対して厳格な選択基準を設けています。

LCD 技術や欠損ピクセルに関する詳細については、特定の白書をご覧ください。白書は、www.barco.com/medical で入手できます。

ユーザーの快適性を強化

Barco マルチヘッドディスプレイシステムはすべて、市販されている製品の中で最高の仕様のカラーマッチングを採用しています。

Barco では、ディスプレイのカラーマッチングを維持するように推奨しています。さらに、システムの実用的な耐用年数を通してカラーマッチングを維持するには、同じ速度でマルチヘッド設定の全てのディスプレイを使用することが重要です。

品質保証を最大限に高める

「MediCal QAWeb システム」では最高級の品質保証を誇るオンラインサービスを提供し、最大限の品質を保証し使用可能時間を引き延ばせるように努めています。

無償の MediCal QAWeb エッセンシャルレベルの詳細とサインアップについては、www.barco.com/medical/qa にアクセスしてください。

スタンバイに切り替える

タッチキーを使用するには、次の手順を実行します。

1. OSD が画面上にない間に、任意のタッチキーに触れる。すると、コントロールパネルの照明の電源が数秒入る。
2. コントロールパネルの照明の電源が入っている間に、スタンバイ⏻タッチキーに触れる。画面上にメッセージが表示される。
3. スタンバイ⏻タッチキーにもう一度触れ、確定する。
4. スタンバイ中にディスプレイの電源を入れるには、任意のキーに触れる。次に、コントロールパネルの照明の電源が入っている間に、スタンバイ⏻タッチキーに触れる。

調節用ツマミを使用するには、次の手順を実行します。

1. OSD が画面上にない間に、調節用ツマミを短くカチッと鳴らす。画面上にメッセージが表示される。
2. 調節用ツマミをもう一度カチッと鳴らし、確定する。
3. スタンバイ中にディスプレイの電源を入れるには、調節用ツマミを短くカチッと鳴らす。

OSD メニューを表示する

タッチキーを使用するには、次の手順を実行します。

1. OSD が画面上にない間に、任意のタッチキーに触れる。すると、コントロールパネルの照明の電源が数秒入る。
2. コントロールパネルの照明の電源が入っている間に、入力⊟タッチキーに触れる。

調節用ツマミを使用するには、次の手順を実行します。

OSD が画面上にない間に、調節用ツマミを回す。

OSD メニュー内を移動する

タッチキーを使用するには、次の手順を実行します。

1. 上 ›と下 ‹のキーを操作して、メニュー内を移動する。
2. サブメニューを開くには、上 ›または下 ‹のキーを操作してサブメニューを反転表示する。次に、入力⊖キーに触れてサブメニューを開く。
3. **[終了]**を選択すると、OSDはサブメニューを終了し前(上位レベル)のメニューにジャンプする。メインメニューで **[終了]** を選択すると、OSD は非表示になる。

調節用ツマミを使用するには、次の手順を実行します。

1. 調節用ツマミを回し、メニュー内を上下に移動する。
2. サブメニューを開くには、調節用ツマミを回してサブメニューを反転表示する。次に、調節用ツマミをカチッと鳴らしてサブメニューを開く。
3. **[終了]**をクリックすると、OSDはサブメニューを終了し前(上位レベル)のメニューにジャンプする。メインメニューで **[終了]** を選択すると、OSD は非表示になる。

OSD メニュー内で選択する

タッチキーを使用するには、次の手順を実行します。

1. メニュー内を移動し、選択したいパラメータを反転表示する。
2. 入力⊡キーに触れ、選択操作を行ったり複数の設定を切り換える。

調節用ツマミを使用するには、次の手順を実行します。

1. メニュー内を移動し、選択したいパラメータを反転表示する。
2. 調節用ツマミをカチッと鳴らして、選択操作を行ったり複数の設定を切り換える。

OSD メニュー内の値を変更する

タッチキーを使用するには、次の手順を実行します。

1. メニュー内を移動し、調整したいパラメータを反転表示する。
2. 入力⊡キーに触れて編集モードを開く。
3. 上 › または下 ‹ のキーを操作して値を変更する。
4. 入力⊡キーに触れ、新しい値を入力しメニューに戻る。

調節用ツマミを使用するには、次の手順を実行します。

1. メニュー内を移動し、調整したいパラメータを反転表示する。
2. 調節用ツマミをカチッと鳴らして、編集モードを開く。

3 調節用ツマミを回して値を変更する。

4 調節用ツマミをカチッと鳴らして、新しい値を入力しメニューに戻る。

便利なメニューおよび機能

情報メッセージ

次のメッセージが画面上に自動的に表示される場合があります。

入力選択

ビデオ信号が 2 つ接続されており、そのうちの 1 つまたは両方のビデオ信号の解像度が両方のビデオ信号を表示するには高すぎる場合、入力選択メニューが表示されます。

この場合、入力選択メニューで 1 つまたは両方のビデオ信号を選択することができます。

信号が選択されていません

ディスプレイの入力部で適切なビデオ信号が見当たらない場合、このメッセージが表示されます。

解像度が高すぎます

選択したビデオ信号の解像度が高すぎる場合、このメッセージが表示されます。

テキストモード / 診断モード

これらのメッセージは、テキストモードや診断モードに切り替わった直後に数秒表示されます。
テキストモードでは、ディスプレイの輝度は診断モードの約半分です。これは、ワードプロセッサなどのオフィスアプリケーションと一緒にディスプレイを使用するためのモードです。上 › と下 ‹ のキーに同時に触れると、モードを切り替えることができます。

LCM 温度が高すぎます

⚠ これは重大なエラーメッセージです。ディスプレイの電源を切り、修理窓口にお電話してください。

この警告は、LCD パネルの温度が高すぎることを意味しています。この結果、ディスプレイはセーフオペレーティングモードに切り替わります (バックライトの値は下がります)。ディスプレイの電源が切れるまで、このメッセージは消えません。

LCM 温度センサーは非通信中です

⚠ これは重大なエラーメッセージです。ディスプレイの電源を切り、修理窓口にお電話してください。

この警告は、LCD パネル温度センサーの通信が失われたことを意味しています。この結果、ディスプレイはセーフオペレーティングモードに切り替わります (バックライトの値は下がります)。ディスプレイの電源が切れるまで、このメッセージは消えません。

オンスクリーンディスプレイ (OSD)

輝度およびカラーメニュー

測定された輝度	内部センサーで測定される実際の輝度を示します。これは読み取り専用の値です。単位は、cd/m2 で表されます。
輝度ターゲット	輝度のターゲットを手動で調節することができます。以下の注を参照してください。
カラーターゲット	工場出荷時やユーザー定義のカラーターゲットの一覧から選択することができます。
表示モード	[診断] または [テキスト] の表示モードを選択できます。テキストモードでは、輝度は診断モードの約半分です。これは、ワードプロセッサなどのオフィスアプリケーションと一緒に使用するためのモードです。OSD が画面上にない間に、上 > と下 < のキーに同時に触れてモードを切り替えることもできます。
カラー定義	カラー定義サブメニューにジャンプします。ユーザー定義のカラーターゲットの定義は、ここで変更できます。

輝度ターゲットを変更すると、ディスプレイはターゲットに達するようにバックライトを調節します。これは測定された輝度でご覧になれます。
バックライトの劣化などにより、輝度ターゲットに達しない場合、測定された輝度ラインは到達した最小値または到達した最大値に変わります。

カラー定義サブメニュー

カラーターゲットは、輝度ターゲットとカラー温度で定義されます。カラー定義サブメニューでは、これらの数値を編集できます。

カラー名	編集するカラーターゲットを示します。上 › と下 ‹ のタッチキーを操作したり、調節用ツマミを回して他のカラーターゲットを選択して編集することもできます。
輝度ターゲット	カラーターゲットに対応する輝度ターゲットを選択することができます。
定義の単位	カラー温度の定義方法として、(x,y) 座標またはケルビン (K) 単位のどちらかを示します。上 › と下 ‹ のタッチキーを操作したり、調節用ツマミを回して単位を切り替えることができます。 この機能は、ユーザーカラーターゲットが選択されている場合にのみ使用可能です。
x	カラーターゲットに対応するカラー温度の x 座標を定義することができます。 この機能は、カラーターゲットが (x,y) 座標に定義されている場合にのみ使用可能です。 ネイティブホワイトカラーターゲットが選択されている場合、この機能は使用できません。

y	カラーターゲットに対応するカラー温度の y 座標を定義することができます。 この機能は、カラーターゲットが (x,y) 座標に定義されている場合にのみ使用可能です。 ネイティブホワイトカラーターゲットが選択されている場合、この機能は使用できません。
カラー温度	ケルビン単位のカラーターゲットに対応するカラー温度を定義することができます。 この機能は、カラーターゲットがケルビン単位に定義されている場合にのみ使用可能です。 この機能は、ユーザーカラーターゲットが選択されている場合にのみ使用可能です。
x、y を工場出荷時の設定値にリセット	カラー温度の (x、y) 座標を工場出荷時の設定値にリセットすることができます。 ネイティブホワイトカラーターゲットが選択されている場合、この機能は使用できません。

ディスプレイファンクションメニュー

ディスプレイファンクション	事前定義されたディスプレイ機能の一覧から選択することができます。 DICOM DF が選択されている場合、多数の追加設定が使用可能です。

ALC & DICOM オプション	[ALC & DICOM オプション] サブメニューにジャンプします。DICOM ディスプレイファンクションの設定は、ここで編集できます。 この機能は DICOM DF が選択されている場合にのみ利用できます。

ALC & DICOM オプションサブメニュー

測定された周囲光	ディスプレイ前面の周囲光センサーで実際に測定された周囲光を示します。これは読み取り専用の値です。
平均周囲光	ディスプレイの電源が入ってから、測定された周囲光の平均が表示されます。 "ALC 値の測定 " 機能を実行すると、この値が選択した読影室で決定される最大周囲光を上回らない限り、この値が選択した読影室の測定された ALC 補正値として保管されます。
補正値	ディスプレイファンクションの計算を考慮に入れた周囲光補正値が表示されます。
常時 DICOM ALC	常時 DICOM ALC のオン / オフを切り替えることができます。 オンにすると、平均周囲光を考慮に入れて連続的に DICOM DF が再計算されます。 オフにすると、DICOM Offset の変更時にのみ DICOM DF が再計算されます (以下を参照してください)。

DICOM オフセット	この機能は、DICOM DF が選択されている場合にのみ使用可能です。常時 DICOM ALC がオフになっている場合、DICOM Offset の変更時に新しい DICOM Offset を考慮に入れて DICOM DF が再計算されます。 • " 暗室 " に設定すると、周囲光は考慮されません。 • " プリセット " に設定すると、選択した読影室によって決定されたプリセット周囲光値は考慮されません。 • " 測定された ALC" に設定すると、選択した読影室によって決定された平均周囲光値は考慮に入れられます。 この機能は常時 DICOM ALC がオフになっている場合にのみ利用できます。
読影室	事前定義された読影室の種類の一覧から選択することができます。 ディスプレイがインストールされている部屋の種類に対応する読影室を選択する必要があります。 この機能は常時 DICOM ALC がオフになっている場合にのみ利用できます。
読影室の定義	読影室の定義サブメニューにジャンプします。ここで、読影室の条件設定を編集できます。 この機能は常時 DICOM ALC がオフになっている場合にのみ利用できます。

キャリブレーション情報	計算情報サブメニューにジャンプします。ここで、DICOM DF を再計算することを考慮に入れた値についての情報を表示します。

読影室の定義サブメニュー

測定された周囲光	ディスプレイ前面の周囲光センサーで実際に測定された周囲光を示します。これは読み取り専用の値です。
平均周囲光	ディスプレイの電源が入ってから、測定された周囲光の平均が表示されます。これは読み取り専用の値です。
読影室	編集する読影室の種類を示します。上 › または下 ‹ のタッチキーを操作したり、調節用ツマミを回して他の室を選択して編集することもできます。
最大周囲光	これは、選択した読影室に対応する最大周囲光を表します。 測定した周囲光がここで入力した値よりも高い場合、部屋を暗くするか、別の読影室の種類を選択するという措置を取る必要があります。
プリセット補正値	DICOM DF 常時 DICOM ALC がオフ、DICOM Offset が " プリセット " に設定されている場合、この値は DICOM DF の計算を考慮に入れます。 各読影室の種類は、別のプリセット値に対応します。

測定された ALC 値	常時 DICOM ALC がオフ、DICOM Offset が " 計測された ALC" に設定されている場合、この値は DICOM DF の計算を考慮に入れます。 この走査線を選択して選択を確認すると、実際の平均周囲光値がここに保存され、以前の値に上書きされます。 ただし、平均周囲光値が選択した読影室に対応する最大周囲光を上回る場合、室内の照明を暗くするように警告が表示され、その値は最大周囲光値に限定されます。 室内の照明を暗くすれば、先ほどより小さい値を新たに入力して ALC 値の測定機能を再度実行できます。

キャリブレーション情報サブメニュー

プリセット周囲光値 / 測定された周囲光値 / 平均周囲光値	DICOM DF を計算することを考慮に入れた周囲光補正値が lux の単位で表示されます。
高い輝度	DICOM DF を計算することを考慮に入れた高い輝度値を示します。
低い輝度	DICOM DF を計算することを考慮に入れた低い輝度値を示します。
周囲光補正	DICOM DF を計算することを考慮に入れた周囲光補正値が cd/m^2 の単位で表示されます。

設定メニュー

DPMS	ディスプレイ電源管理システムのオン / オフを切り替えることができます。以下の注を参照してください。
LED 電源	電源 LED のオン状態のオン / オフを切り替えることができます。LED のオレンジ DPMS ステータスはこの設定の影響を受けません。従って、ディスプレイが省電力モードになった場合、この設定でオフに切り替えられていたとしても LED はオレンジに点灯します。
ユーザーコントロール	ディスプレイ前面のユーザーコントロールを有効にすることができます。 オフに切り替えた場合、ユーザーはユーザーコントロールのキーコードを入力するまで OSD を表示させることができません。 ユーザーコントロールを再度有効にするには、**タッチキーを使用してユーザーコントロールを再度有効にするには、次の手順を実行します。**ページ 42または**調節用ツマミを使用してユーザーコントロールを再度有効にするには、次の手順を実行します。**ページ 42
音声	サウンドのオン / オフを切り替えることができます。オンに切り替えた場合、ソフトキーに触れる度に短いビープ音が鳴ります。
自動メニュー終了	自動メニュー終了のオン / オフを切り替えることができます。オンに切り替えた場合、アイドル状態になった場合や特定の時間が経過すると OSD は自動的に終了します。

OSD 方向	オンスクリーンディスプレイの目的の方向を選択します。デフォルトでは横となっていますが、ディスプレイを縦向きに置く場合は、OSD 方向も同様に縦を選択する必要があります。そうしなければ、OSD が読み取りにくくなります。
入力切替モード	ディスプレイが自動的にビデオ入力を選択するようにしたい場合は " 自動 " を選択してください。ビデオ入力のみが接続されている場合、画像は画面の中央に表示されます。両方のビデオ入力が接続されている場合、" 左 " 入力に接続されているビデオ信号は画面の左側に、" 右 " 端子に接続されている信号は右側に表示されます。そのうちの 1 つのビデオ信号が 1640x2048 の解像度を上回ると、信号は抑制されます。 " 左 " ビデオ入力に接続されている信号のみを表示するには、" 左 " を選択します。 " 右 " ビデオ入力に接続されている信号のみを表示するには、" 右 " を選択します。
優先入力	接続したグラフィックボードで再現させたいビデオ解像度を選択します。この設定を変更する前に、PC の電源を切る必要があります。設定の変更後、PC の電源を入れればグラフィックボードの解像度が変更されます。 この機能はプラグアンドプレイグラフィックボードでのみ有効です。 詳細はスタートアップガイドを参照してください。

I Guard ゾーンを除く	オンに切り替えた場合、優先入力のビデオ解像度は削減後の走査線の値に設定されます。画像は I-Guard パッチの下に表示されます。
拡大縮小	オンに切り替えると、ディスプレイは低解像度ビデオ信号を拡大 (スケールアップ) します (可能な場合)。

接続されているコンピュータがアイドル状態になったまま特定の時間が経過すると、DPMS システムはディスプレイの電源を切ります。

Barco では、画像のバーンイン (画像リテンション) を防ぐため DPMS をオンにすることを推奨しています。

情報メニュー

製品	ディスプレイタイプ
シリアル番号	ディスプレイのシリアル番号を示します
SW 番号	内部ソフトウェアの注文番号です
SW バージョン	現在の内部ソフトウェアのバージョンが表示されます
ディスプレイ表示時間	スタンバイ時間を含む、ディスプレイが動作している合計時間を表します
バックライトランタイム	スタンバイ時間を除く、ディスプレイが動作している合計時間を表します

表示モードを変更する

表示モードについて

ディスプレイには 2 つの表示モードがあります。診断表示モードでは、フルキャリブレーションされた輝度が利用できます。これは、診断目的用のディスプレイに使用するためのモードです。

テキストモードでは、輝度は診断モードの約半分です。これは、ワードプロセッサなどのオフィスアプリケーションと一緒にディスプレイを使用するためのモードです。

キーによる表示モードの切り替え

OSD が画面上にない間に、上 › と下 ‹ のタッチキーに同時に触れます。すると、ディスプレイの表示モードが切り替わります。表示モードはメッセージで示されます。メッセージは表示モードが切り替わった後、数秒間表示されます。

OSD メニューによる表示モードの切り替え

表示モードは、輝度およびカラーメニューでも切り替えられます。

ユーザーコントロールを有効 / 無効にする

ユーザーコントロールを無効にするには、次の手順を実行します。

1. OSD メインメニューを開きます。
2. [**設定**] メニューを開きます。
3. [**ユーザーコントロール**] を選択します。
4. [**オフ**] を選択します。
5. [設定] メニューに戻ります。

6 OSD を終了します。

ユーザーは、ユーザーコントロールのキーコードを入力するまで OSD を再度表示させることができません (以下を参照してください)。

タッチキーを使用してユーザーコントロールを再度有効にするには、次の手順を実行します。

1 **ユーザーコントロール**キーコードを入力するには、OSD は非表示にする必要があります。

2 任意のソフトキーに触れ、前面の照明をオンにします。

3 照明がオンになっている間に、以下の順序で次のキーに触れます。
入力⊖? 下‹、上›、下‹、入力⊖。

すると、設定 [設定] メニューの**ユーザーコントロール**が再度オンになります。

調節用ツマミを使用してユーザーコントロールを再度有効にするには、次の手順を実行します。

1 OSD は非表示にする必要があります。

2 最低 5 秒間、調節用ツマミを押し続けます。

3 調節ツマミを**時計回りに 1 周**回します。

4 調節用ツマミを **2 回**押します。

5 調節ツマミを**反時計回りに 1 周**回します。オンスクリーンディスプレイが表示されます。

手順 3 から 5 は、3 秒以内に実行する必要があります。

すると、設定 [設定] メニューの**ユーザーコントロール**が再度オンになります。

電源 LED のオン / オフを切り替える

電源 LED のオン / オフを切り替えるには、次の手順を実行します。

1. OSD メインメニューを開きます。
2. **[設定]** メニューを開きます。
3. **[電源 LED]** を選択します。
4. [オン] または [オフ] を選択します。
5. [設定] メニューに戻ります。

ディスプレイがスタンバイに入ると、電源 LED 設定がオフであっても電源 LED はオレンジ色になります。
電源 LED 設定がオフの場合、ディスプレイをオンにすると LED は引き続きオン (緑色) になりますがビデオ信号は受信しません。

DPMS のオン / オフを切り替える

DPMS のオン / オフを切り替えるには、次の手順を実行します。

1. メインメニューを開きます。
2. **[設定]** メニューを開きます。
3. **[DPMS]** を選択します。
4. [オン] または [オフ] を選択します。
5. [設定] メニューに戻ります。

ディスプレイファンクションの変更

コンセプト

- ディスプレイファンクションメニューでは、ディスプレイファンクション (DF) を選択できます。
- ICOM DF を選択すると、周囲光を考慮に入れて再計算される DICOM DF を定義できます。これには、常時再計算 (“ 同時 DICOM ALC” オン) またはシングル再計算 (“ 同時 DICOM ALC” オフ) があります。
- シングル再計算を選択すると、照度 0 lux (“ 暗室 ”) プリセット値 (“ プリセット ”) またはシングル、リアルタイム計測 (“ 測定された ALC”) が再計算の基となります。プリセットと測定された ALC 補正値は共に、選択した読影室によって決定されます。
- “ プリセット ” または “ 測定された ALC” の場合、ディスプレイがインストールされている部屋の種類に対応する読影室を選択する必要があります。たとえば、CT スキャンを観察する部屋にディスプレイがインストールされている場合には、“CT/MR/NM” 読影室が好ましいでしょう。
- 読影室は、以下の 3 つのパラメータで定義されます。
    - **最大周囲光** では、このタイプの部屋で許容される最大光を定義します。この値は、選択した読影室によって決定される特定の許容限界内で調整できます。
    - **プリセット補正値**は、この読影室で可能な事前補正値です。この値は、選択した読影室によって決定される特定の許容限界内で調整できます。
    - **測定された ALC 値**は、この読影室で可能な測定された周囲光の平均値です。測定された ALC 値は、“ALC 値を測定 ” 機能を実行して変更可能です。
- 読影室のパラメータは、米国医療物理学会 (AAPM) にしたがってディスプレイで事前定義されています。ただし、パラメータは特定の許容限界内で変更できます。

ディスプレイファンクションの選択

ディスプレイファンクション (DF) を選択するには、次の手順を実行します。

1. メインメニューを開きます。
2. [**ディスプレイ ファンクション**] メニューを開きます。
3. [**ディスプレイファンクション**] を選択します。
4. 希望する DF を選択します。
5. [ディスプレイファンクション] メニューに戻ります。

次の DF を選択できます。

DICOM	ほとんどの医療用表示アプリケーション用に DICOM ディスプレイファンクションを選択できます。 DICOM ファンクションによって、画像はより見やすいグレイスケールになります。
Dynamic Gamma 2.2 **Dynamic Gamma 1.8**	これらはガンマファンクションで、" ブラック " 信号を使用するときに LCD パネルの非ゼロ輝度を考慮するようシフトされます。 これらは CT アプリケーションで特に役立ち、低い Hounsfield 値を認識しやすくします。
ネイティブ	ネイティブを選択した場合、ネイティブパネル動作は正せません。
テスト	これはネイティブの DF と同一です。

Gamma 2.2 **Gamma 1.8**	ディスプレイを Gamma 1.8 または Gamma 2.2 の CRT ディスプレイと置き換える場合は、これらのディスプレイファンクションのいずれかをそれぞれ選択します。
ユーザー	これはユーザーによる定義が可能な DF です。

ALC & DICOM オプション

常時 DICOM ALC

イントロダクション

DICOM DF を選択すると、ディスプレイにより DICOM ディスプレイファンクションを計算するために周囲光を考慮に入れる機会がもたらされます。この機能を**常時 DICOM ALC** (ALC は、周囲光補完を省略したものです) と呼びます。

常時 DICOM ALC を**オン**にすると、ディスプレイは連続的に測定された周囲光の平均を基にした DICOM DF を適合させます。

常時 DICOM ALC を**オフ**にすると、他の DICOM Offset が選択された場合にのみ DICOM DF は再計算されます。

常時 DICOM ALC のオン / オフを切り替えるには、次の手順を実行します。

1. DICOM ディスプレイファンクションを選択します。**ディスプレイファンクション (DF) を選択するには、次の手順を実行します。**ページ 45 を参照してください。
2. [ディスプレイファンクション] メニューで、**[ALC & DICOM オプション]** を選択します。
3. [ALC & DICOM オプション] サブメニューで、**[常時 DICOM ALC]** を選択します。
4. [オン] または [オフ] を選択します。

5 [ALC & DICOM オプション] メニューに戻ります。

周囲光は前面の ALC センサーで測定されます。

DICOM オフセット

イントロダクション

常時 DICOM ALC を**オフ**にすると、他の DICOM Offset が選択された場合にのみ DICOM DF は再計算されます。DICOM DF は新しいオフセット設定を基に再計算されます。

DICOM オフセットを選択するには、次の手順を実行します。

1 DICOM ディスプレイファンクションを選択します。**ディスプレイファンクション (DF) を選択するには、次の手順を実行します。**ページ 45 を参照してください。

2 常時 DICOM ALC をオフにします。**常時 DICOM ALC のオン / オフを切り替えるには、次の手順を実行します。**ページ 46 を参照してください。

3 [ALC & DICOM オプション] メニューで、**[DICOM Offset]** を選択します。

4 オフセットを選択します。

5 [ALC & DICOM オプション] メニューに戻ります。

次のオフセットを選択できます。

暗室	DICOM DF は、0 lux の周囲光値を考慮に入れて再計算されます。 つまり、測定された周囲光は DICOM DF には影響**しません**。

プリセット	DICOM DF はプリセット周囲光値を考慮に入れて再計算されます。この値は、選択した読影室によって決定され、特定の許容限界内で調整できます。
測定された ALC	DICOM DF は、選択した読影室によって決定される測定された周囲光の平均値を考慮に入れて再計算されます。この値は、[読影室の定義] サブメニューの "ALC 値を測定 " 機能を実行して変更できます。

読影室の選択

この機能は、DICOM ディスプレイファンクションが選択されており、常時 DICOM ALC がオフの場合にのみ使用可能です。

読影室の設定を選択するには、次の手順を実行します。

1. DICOM ディスプレイファンクションを選択します。**ディスプレイファンクション (DF) を選択するには、次の手順を実行します。**ページ 45 を参照してください。
2. 常時DICOM ALCをオフにします。**常時DICOM ALCのオン/オフを切り替えるには、次の手順を実行します。**ページ 46 を参照してください。
3. [ALC & DICOM オプション] メニューで、**[読影室]** を選択します。
4. ディスプレイがインストールされている部屋の種類に対応する読影室を選択してください。
5. メニューに戻ります。

次の読影室の種類を選択できます。

DRR CR/DR/ マンモグラフィ	コンピューテッドラジオロジー、デジタルラジオロジー、マンモグラフィー用の診断読影室の照明条件に対応します。この設定の最大周囲光は最も小さくなっています。
DRR CT/MR/NM	コンピューテッドトモグラフィー、磁気共鳴、または核医学スキャン用の診断読影室の照明条件に対応します。
スタッフ室	オフィス室の照明条件に対応します。
読影	読影用の診断読影室の照明条件に対応します。
緊急処置室	救急処置室の照明条件に対応します。
手術室	手術室の照明条件に対応します。この設定の最大周囲光は最も大きくなっています。

読影室の定義

この機能は、DICOM ディスプレイファンクションが選択されており、常時 DICOM ALC がオフの場合にのみ使用可能です。

読影室の定義を変更するには、次の手順を実行します。

1. DICOM ディスプレイファンクションを選択します。**ディスプレイファンクション (DF) を選択するには、次の手順を実行します。**ページ 45 を参照してください。
2. 常時DICOM ALCをオフにします。**常時DICOM ALCのオン/オフを切り替えるには、次の手順を実行します。**ページ 46 を参照してください。
3. [ALC & DICOM オプション] メニューで、**[読影室の定義]** を選択します。

4 変更する読影室の定義を選択します。それに加えて、最初に **[読影室]** を選択します。適切な読影室を選択します。

5 この読影室の最大周囲光を変更するには、**[最大周囲光]** を選択し値を変更します。

この値は、選択した読影室によって決定される特定の許容限界内で調整できます。

6 この読影室のプリセット補正値を修正するには、**[プリセット補正値]** を選択し値を変更します。

この値は、選択した読影室によって決定される特定の許容限界内で調整できます。

7 この読影室の [測定された ALC 値] を変更するには、**[ALC 値の測定]** を選択し機能を実行します。

この時点の " 平均周囲光 " が定義された " 最大周囲光 " を下回る場合、平均周囲光値は測定された ALC 値としてコピーされます。

この時点の " 平均周囲光 " が定義された " 最大周囲光 " を上回る場合、選択された読影室に対する室内の周囲光に適合するようユーザーに措置を促す警告がディスプレイに表示されます。手順は次のとおりです。

- [入力] を使用するか、調節ツマミを短くカチッと鳴らします。すると、測定された ALC 値は最大周囲光値に限定されます。[入力] を使用するか、調節ツマミを再度短くカチッと鳴らしこの値を保存します。
- ただし、選択した読影室の定義の周囲光条件に合わせたい場合には、室内の照明を暗くすれば測定された周囲光は最大周囲光より暗くなります。
- 次に [入力] を使用するか、調節ツマミを再度短くカチッと鳴らし [ALC 値の測定] 機能をもう一度実行します。すると、実際に測定された周囲光値が測定された ALC 値としてコピーされます。最後に [入力] を使用するか、調節ツマミを再度短くカチッと鳴らしこの値を保存します。

ディスプレイのお手入れ

フロント画面

⚠ フロント画面を掃除する前に、清掃中にうっかりキーを起動してしまわないように電源ケーブルをコンセントから抜いておきます。

フロント画面は、スポンジ、清掃用布きん、やわらかいティッシュペーパーなどを使用して汚れを**軽く**拭き取ります。以下の洗浄剤が使用できます。

- Flux
- Windex Glass Plus
- Bohle ガラスクリーナー
- Mr. Proper
- Pril
- Ajax ガラスクリーナー
- Sidolin ガラスクリーナー

上記製品を入手できない場合には、真水をご使用ください。

⚠ フロント画面を傷つけたり、引っかいたりしないよう十分注意してください。指輪やその他の宝飾品には細心の注意を払って作業し、フロント画面には過度の圧力を加えないでください。

⚠ 噴霧液をフロント画面に直接噴きかけないでください。液が過剰にかかると、内部の電子機器が損傷する恐れがあります。代わりに、清掃用布きんに液を噴きかけます。

以下の製品は使用しないでください。

- 濃度が > 5% を超えるアルコール / 溶剤
- 強アルカリ液、強溶剤
- 酸
- フッ素を使用した洗剤
- アンモニアを使用した洗剤
- 研磨剤
- スチールウール
- 研磨剤を使用したスポンジ
- スチール製ナイフ
- スチール糸を使用した布きん

キャビネット

1 医療用機器を掃除するのに認められている洗浄剤を浸したコットン製の布きんを使って、キャビネットの汚れを**そっと**拭き取ります。

キャビネットに対して抵抗性があることが確認されている製品は、次のとおりです。

- Cidex、Betadine
- アルコール (イソプロピルおよびエチル)
- アンモニアベースのクリーナー (Windex)
- Aquasonic Gel

上記製品を入手できない場合には、真水をご使用ください。

噴霧液をキャビネットに直接噴きかけないでください。液が過剰にかかると、内部の電子機器が損傷する恐れがあります。代わりに、清掃用布きんに液を噴きかけます。

2 水だけをつけて拭き取ります。

3 乾いた布きんで拭き取ります。

重要なお知らせ

安全情報

一般推奨事項

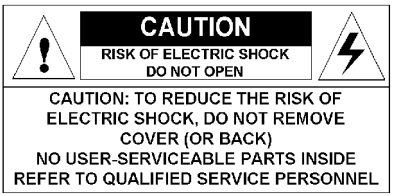
ディスプレイを使用する前に、安全および操作説明書をお読みください。

安全および操作説明書は、いつでも見れるように保管しておきます。

ディスプレイと操作説明書に書かれている指示を必ず守ってください。

操作および使用上の指示に従ってください。

感電



保護タイプ (電気的):

外部電源付きディスプレイ : クラス I 機器

安全度 (可燃性麻薬混合物):

機器は空気や酸素または亜酸化窒素を含む可燃性麻薬混合物があるところでは、使用に適していません。

非患者ケア機器

ヘルスケア施設での使用を第一に考えられており、患者との接触が発生しそうにない場所で使用するための機器です。

電力消費 - 外部の 24 VDC 電源を使用するディスプレイ

- 電源条件 : ディスプレイの電源には、医用として認可されている同梱の 24 VDC SELV 電源を使用する必要があります。
- 医用として認可されている DC 電源は、必ず AC コンセント (保護接地端子) から取る必要があります。

電源コード :

- UL 規格認定取得済みの取り外し可能な電源コード、3 ワイヤ、SJ タイプまたはこれと同等のもの、18 AWG 以上、定格 300 V 以上を使用します。ホスピタルグレードタイプの 120V アプリケーション用のプラグ 5-15P、または 240V アプリケーション用の 6-15P を同梱しています。
- コンセントや延長コードに負荷をかけすぎないでください。火災や感電につながる恐れがあります。
- 電源コードの保護 (米国: 電源コード): 電源コードはきちんと取り回されているため、足で踏まれたり、カバーや物などにはさまったりすることはないはずですが、プラグやコンセント部分には特に注意する必要があります。

水および湿気

ディスプレイは、雨や湿気に絶対にさらさないでください。

バスタブ、洗面台、スイミングプール、キッチンシンク、洗濯用容器、じめじめとしたベースメントなど、水気のある付近では絶対にディスプレイを使用しないでください。

換気

本体のカバーにある換気口を覆ったりふさがないでください。ディスプレイを食器棚やその周辺に設置する際には、本体と食器棚の間にしかるべき空間を設けるように注意してください。

設置

ディスプレイは、3 台分のディスプレイの重量に耐えられる平らで頑丈で安定性のある場所に設置してください。安定性に欠けるカートやスタンドに設置した場合、ディスプレイが落下し大人や子供が重傷を負ったり、機器が大きく損傷する恐れがあります。

Coronis Fusion 4MP は以下に適合しています。

UL 60601-1　1ST EDITION, CAN/CSA-C22.2 NO. 601.1-M90, IEC 60601-1 2ND ED:1988 + A1:1991 + A2:1995, IEC 60950-1:2001 1ST EDITION, CE - 89/336/EEC, CE - 93/42/EEC, DEMKO - EN 60601-1, BSMI - CNS13438(95) + CNS14336(94), VCCI, FCC class B, ICES-001 Level B, MDD class IIb, FDA 510k pending, RoHS

Coronis Fusion 6MP は以下に適合しています。

UL 60601-1　1ST EDITION, CAN/CSA-C22.2 NO. 601.1-M90, IEC 60601-1 2ND ED:1988 + A1:1991 + A2:1995, IEC 60950-1:2001 1ST EDITION, CE - 89/336/EEC, CE - 93/42/EEC, DEMKO - EN 60601-1, CCC - GB9254-1998 + GB4943-2001 + GB17625.1-2003, BSMI - CNS13438(95) + CNS14336(94), VCCI, FCC class B, ICES-001 Level B, KETI (eK) Level B, BSMI, MDD class IIb, FDA 510k, RoHS

CL. 1.7.2 に対する北欧各国における差異 :

フィンランド :「Laite on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan」
ノルウェー :「Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt」
スウェーデン :「Apparaten skall anslutas till jordat uttag」

環境情報

廃棄情報 (廃電気電子機器)

欧州廃電気電子機器に関する指令 02/96/EC に基づき、この記号がある製品を廃棄する場合は、他の一般廃棄物と一緒に処分してはいけないことを示しています。不要になった機器は、廃電気電子機器のリサイクル向けに指定されている収集場所にて処分してください。抑制のきかない廃棄物処理から環境や人体に対する被害が発生するのを防ぐために、他の一般廃棄物とは分別した上で地球に優しい物的資源の再利用を促進するために責任をもってリサイクルしてください。

本製品のリサイクルに関する詳細については、お住まいの市役所や地方自治体の廃棄物処理業者、または本品を購入した販売店にお問い合わせください。

水銀に関する警告

Barco 社の本製品には水銀を含む可能性がある部品が使われています。これらの部品は、地方、州、国で定める法令に沿ってリサイクルまたは処分する必要があります。

- 本装置では、モニターディスプレイのバックライトランプで水銀が使用されています。

トルコの RoHS を順守

トルコ共和国 : EEE Regulation に準拠
Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

中国大陆 RoHS (中国本土の RoHS)

根据中国大陆《电子信息产品污染控制管理办法》(也称为中国大陆 RoHS)，以下部分列出了 Barco 产品中可能包含的有毒和 / 或有害物质的名称和含量。中国大陆 RoHS 指令包含在中国信息产业部 MCV 标准：「电子信息产品中有毒物质的限量要求」中。

「中国政府発布の電子情報製品の有毒有害物質の検査方法」(別名、中国本土の RoHS) に従い、Barco 社製品に含まれている可能性がある有毒 / 有害性物質の名称と成分を以下の表に示します。中国本土の RoHS は、中国信息産業部の MCV 基準、「電子情報製品の有毒物質の適用要件」の項に含まれています。

零件项目 (名称) **成分名**	**有毒有害物质或元素** **有害性物質または成分**					
	铅 **(Pb)**	**汞** **(Hg)**	**镉** **(Cd)**	**六价铬** **(Cr6+)**	**多溴联苯** **(PBB)**	**多溴二苯醚** **(PBDE)**
印制电路配件 プリント基板アッセンブリ	X	O	O	O	O	O
液晶面板 LCD パネル	X	X	O	O	O	O
外接电 (线) 缆 外部ケーブル	X	O	O	O	O	O
内部线路 内部配線	O	O	O	O	O	O
金属外壳 金属製筐体	O	O	O	O	O	O
塑胶外壳 プラスチック製筐体	O	O	O	O	O	O
散热片 (器) 放熱板	O	O	O	O	O	O
风扇 ファン	O	O	O	O	O	O
电源供应器 電源装置	X	O	O	O	O	O
文件说明书 印刷版の取扱説明書	O	O	O	O	O	O

光盘说明书 CD 版の取扱説明書	O	O	O	O	O	O

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求以下 .
O: この部分の全ての均質物質内に含まれている有毒または有害性物質が、SJ/T11363-2006 で規定されている適用要件の範囲内であることを示します。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求 .
X: この部分の少なくとも 1 つの均質物質内に含まれている有毒または有害性物質が、SJ/T11363-2006 で規定されている適用要件の範囲外であることを示します。

在中国大陆销售的相应电子信息产品（EIP）都必须遵照中国大陆《电子信息产品污染控制标识要求》标准贴上环保使用期限（EFUP）标签。Barco 产品所采用的 EFUP 标签（请参阅实例，徽标内部的编号使用于制定产品）基于中国大陆的《电子信息产品环保使用期限通则》标准。

中国本土で販売されている全ての電子情報製品 (EIP) は、中国政府発布の「電子情報製品の有毒有害物質の検査ラベル基準」に準拠している必要があります。基準を満たしている製品には、環境に優しい使用の期限 (EFUP) のロゴマークがあります。Barco が使用する EFUP ロゴ内の番号は (写真を参照)、中国政府が発布する「電子情報製品の環境に優しい使用の期限」を基にしています。

法令順守情報

ご使用にあたって：CORONIS FUSION 4MP

Coronis Fusion 4MP (MDCC-4130) ディスプレイは、1 台のパネル上に 2MP のディスプレイ画像 2 つを電子的に融合させて表示する能力を備えた表示装置です。本装置は、デジタル画像を専門医が読影や診断する際に使用するためのディスプレイです。画面解像度は、0.2505mm のピクセルピッチで 2560x 1600 ピクセルです。これは、2MP のディスプレイ 2 台の解像度に相当します。

Coronis Fusion 4MP (MDCC-4130) ディスプレイは、マンモグラフィー画像の診断・読影に本来使用するためのものではありません。

注意 (米国): 連邦法により、本装置の販売対象となるのはその使用方法に精通する医師や開業医に限られています。

ご使用にあたって：CORONIS FUSION 6MP

Coronis Fusion 6MP DL (MDCC-6130) ディスプレイは、1 台のパネル上に 3MP のディスプレイ画像 2 つを電子的に融合させて表示する能力を備えた表示装置です。本装置は、デジタル画像を専門医が読影や診断する際に使用するためのディスプレイです。画面解像度は、0.1995mm のピクセルピッチで 3280 x 2048 ピクセルです。これは、3MP のディスプレイ 2 台の解像度に相当します。

Coronis Fusion 6MP DL (MDCC-6130) ディスプレイは、マンモグラフィー画像の診断・読影に本来使用するためのものではありません。

注意 (米国): 連邦法により、本装置の販売対象となるのはその使用方法に精通する医師や開業医に限られています。

FCC CLASS B

本装置はテスト済みで、FCC 法規の Part 15 の制限に準拠します。作業する際は次の条件に従ってください。(1) 本装置は有害な妨害を引き起こさないこと。(2) 本装置は好ましくない操作を引き

起こす可能性がある妨害を含む、受信する全ての妨害を受け入れること。

本機器はテスト済みで、FCC 法規の Part 15 に該当する Class B デジタル装置の制限に準拠していることが分かっています。これらの制限は、住居での設置において生じる妨害からの適切な保護を目的として確立されました。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、手順に従わないで使用すると、無線のコミュニケーションに対する妨害を起こすことがあります。ただし、特定のインストールにおいて妨害が起こらないという保証はありません。機器をオン・オフに切り替えることにより、本装置がラジオまたはテレビの電波受信を妨害していることが確認された場合は、次の中から 1 つ以上の対策をとることをお勧めします。

- 受信アンテナの配置を変えるか、または移動する。
- 装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されているサーキットのコンセントと別のコンセントに装置をつなぐ。
- 販売店またはしかるべき経験を有するラジオ / テレビの技術者に相談する。

カナダ国内におけるお知らせ

本 ISM 装置は、Canadian ICES-001 に準拠しています。
Cet appareil ISM est conforme à la norme NMB-001 du Canada.

記号の説明

ディスプレイや電源上では、次の記号が表示されます (非制限リスト)。

CE 0120	EU 医療機器指令 93/42/EEC の主要要件に適合していることを示します
FC	FCC 法規の Part 15 の制限に適合していることを示します (Class A または Class B)
UL または CLASSIFIED UL	ディスプレイが、UL 規定に沿って承認されていることを示します
c UL us または CLASSIFIED c UL us	ディスプレイが、c-UL 規定に沿って承認されていることを示します
D	ディスプレイが、DEMKO 規定に沿って承認されていることを示します
CCC	ディスプレイが、CCC 規定に沿って承認されていることを示します
VCCI	ディスプレイが、VCCI 規定に沿って承認されていることを示します
	ディスプレイ上で USB 接続中であることを示します
	製造日を示します
15 35	ディスプレイを操作できる仕様上の温度範囲を示します
SN	ディスプレイのシリアル番号を示します

	操作説明書を読むことを示します
	本装置は廃棄物として処分するのではなく、欧州 WEEE(廃電気電子機器) 指令に沿ってリサイクルする必要があることを示します

法的免責事項

本書の記載内容は、可能な限り正確な情報を記載するよう努力をしておりますが、そのすべてを保証するものではありません。弊社の目標は最大限正確かつ有用性が高いドキュメントをお客様に提供することです。誤りを見つけた場合には、ご一報ください。

Barco ソフトウェア製品は、Barco 社が所有権を有します。同製品は、Barco N.V. または Barco, Inc., の著作権のもと、Barco N.V. または Barco Inc. とライセンシーの間で結ぶソフトウェアライセンス合意書で取り交わす特定の条件に基づいて使用する場合に限り、販売されます。それ以外の Barco ソフトウェアの使用、複製、開示は、いかなる形式でも認められていません。

Barco 社製品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

すべての商標および登録商標は、それぞれの著作権の所有者に帰属します。

本書の著作権は保護されています。無断複写・転載を禁じます。本書の全部または一部につき、無断で転載、複写複製、電子的装置への入力等をされると、著作権の権利侵害となる場合がありますので、ご注意ください。本書の複写複製を希望される場合は、Barco から書面による許可を受ける必要があります。

© 2011 日 Barco N.V. 無断複写・転載を禁じます。

技術仕様書

Coronis Fusion 4MP

LCD パネル	MDCC-4130
技術	TFT AM Color LCD Dual Domain IPS-Pro
アクティブスクリーンサイズ (ダイアゴナル)	758.36 mm (29.9")
アクティブスクリーンサイズ (H x V)	641.208 x 404.808 mm (25.25 x 15.94")
縦横比 (H:V)	16:10
解像度	本来は 4MP (2560 x 1600) 2MP+ (1280 x 1600) x 2 に設定変更可能 2MP (1200 x 1600) x 2 に設定変更可能
ピクセルピッチ	0.2505 mm
カラー画像処理	はい
グレイ画像処理	いいえ
カラーサポート	30 ビット
視角 (H, V)	170°
管面均一化機能 (ULT)	はい
ピクセル輝度均一化技術 (PPU)	いいえ
周囲光補完 (ALC)	はい
バックライトセンサー	はい (x 1)
I-Guard	はい
最大輝度	950 cd/m^2
DICOM 校正輝度 (ULT オフ)	500 cd/m^2
コントラスト比 (暗い読影室、標準)	1100:1
応答時間 (Tr + Tf)	20 ms
スキャニング頻度 (H; V)	30-150 kHz; 15-80 Hz

ケースカラー	ブラック / シルバー
ビデオ入力信号	DVI-D デュアルリンク (x 2 本)
ビデオ入力端子	不明
USB ポート	1 アップストリーム (エンドポイント)、3 ダウンストリーム
USB 標準	2.0
電源条件 (公称)	100 ～ 240V
電力消費 (公称)	135W
電源セーブモード	はい
電源の管理	DVI-DMPM
ドットクロック	280 MHz
OSD 言語	英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語
スタンド付きディスプレイの寸法 (W x H x D)	縦向き : NA 横向き : 731 x 580 ～ 676 x 265 mm
スタンド無しディスプレイの寸法 (W x H x D)	縦向き : NA 横向き : 731 x 485 x 141 mm
開梱前の寸法 (W x H x D)	869 x 764 x 400 mm
スタンドを含めた総重量	28.1 kg
スタンドを除いた総重量	21.6 kg
スタンドを含めた開梱前の総重量	37.6 kg
スタンドを除いた開梱前の総重量	不明
高さ調節範囲	96 mm
傾斜範囲	-5° / +25°
旋回範囲	-45° / +45°
ピボット	不明
マウント標準	VESA (100 mm)
画面保護	保護、非反射性ガラスカバー

推奨するモダリティ	CT, MR, US, DR, CR, NM, フィルム
認可	UL 60601-1　1ST EDITION, CAN/CSA-C22.2 NO. 601.1-M90, IEC 60601-1 2ND ED:1988 + A1:1991 + A2:1995, IEC 60950-1:2001　1ST EDITION, CE - 89/336/EEC, CE - 93/42/EEC, DEMKO - EN 60601-1, BSMI - CNS13438(95) + CNS14336(94), VCCI, FCC class B, ICES-001 Level B, MDD class IIb, FDA 510k pending, RoHS
付属アクセサリー	スタートアップガイド クイックインストレーションシート ビデオケーブル (DVI デュアルリンク x 2 本) メインケーブル (英国、欧州 (CEBEC/KEMA)、米国 (UL/CSA; アダプタープラグ NEMA 5-15P)、中国 (CCC)) USB 2.0 ケーブル 外部電源
アクセサリー、別売り	不明
QA ソフトウェア	MediCal QAWeb
パレットごとの単位	不明
パレットの寸法	不明
保証	5 年間
動作温度	0° C ～ 35° C (使用範囲は、15° C ～ 30° C)
保存温度	-20° C ～ 60° C
動作湿度	8% ～ 80% (結露なきこと)
保存湿度	5% ～ 95% (結露なきこと)
動作高度	3,000 m

Coronis Fusion 6MP

LCD パネル	MDCC-6130 DL
技術	TFT AM Color LCD Dual Domain IPS-Pro
アクティブスクリーンサイズ (ダイアゴナル)	772 mm (30.4")
アクティブスクリーンサイズ (H x V)	654 x 409 mm (25.8 x 16.1")
縦横比 (H:V)	16:10

解像度	本来は 6MP (3280 x 2048) 3MP+ (1640 X 2048) x 2 に設定変更可能 3MP (1536 X 2048) x 2 に設定変更可能
ピクセルピッチ	0.1995 mm
カラー画像処理	はい
グレイ画像処理	いいえ
カラーサポート	30 ビット
視角 (H, V)	178°
管面均一化機能 (ULT)	はい
ピクセル輝度均一化技術 (PPU)	いいえ
周囲光補完 (ALC)	はい
バックライトセンサー	はい (x 2)
I-Guard	はい
最大輝度	800 cd/m^2
DICOM 校正輝度 (ULT オフ)	500 cd/m^2
コントラスト比 (暗い読影室、標準)	1000:1
応答時間 (Tr + Tf)	18 ms
スキャニング頻度 (H; V)	30-150 kHz; 15-80 Hz
ケースカラー	ブラック / シルバー
ビデオ入力信号	DVI-D デュアルリンク (x 2 本)
ビデオ入力端子	不明
USB ポート	1 アップストリーム (エンドポイント)、3 ダウンストリーム
USB 標準	2.0
電源条件 (公称)	100 ～ 240V
電力消費 (公称)	166W
電源セーブモード	はい
電源の管理	DVI-DMPM

ドットクロック	280 MHz
OSD 言語	英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語
スタンド付きディスプレイの寸法 (W x H x D)	縦向き : NA 横向き : 731 x 580 ～ 676 x 265 mm
スタンド無しディスプレイの寸法 (W x H x D)	縦向き : NA 横向き : 731 x 485 x 141 mm
開梱前の寸法 (W x H x D)	869 x 764 x 400 mm
スタンドを含めた総重量	26.9 kg
スタンドを除いた総重量	20.4 kg
スタンドを含めた開梱前の総重量	36.1 kg
スタンドを除いた開梱前の総重量	不明
高さ調節範囲	96 mm
傾斜範囲	-5° / +25°
旋回範囲	-45° / +45°
ピボット	不明
マウント標準	VESA (100 mm)
画面保護	保護、非反射性ガラスカバー
推奨するモダリティ	CT, MR, US, DR, CR, NM, フィルム
認可	UL 60601-1 1ST EDITION, CAN/CSA-C22.2 NO. 601.1-M90, IEC 60601-1 2ND ED:1988 + A1:1991 + A2:1995, IEC 60950-1:2001 1ST EDITION, CE - 89/336/EEC, CE - 93/42/EEC, DEMKO - EN 60601-1, CCC - GB9254-1998 + GB4943-2001 + GB17625.1-2003, BSMI - CNS13438(95) + CNS14336(94), VCCI, FCC class B, ICES-001 Level B, KETI (eK) Level B, BSMI, MDD class IIb, FDA 510k, RoHS
付属アクセサリー	スタートアップガイド クイックインストレーションシート ビデオケーブル (DVI デュアルリンク x 2 本) メインケーブル (英国、欧州 (CEBEC/KEMA)、米国 (UL/CSA; アダプタープラグ NEMA 5-15P)、中国 (CCC)) USB 2.0 ケーブル 外部電源

アクセサリー、別売り	不明
QA ソフトウェア	MediCal QAWeb
パレットごとの単位	不明
パレットの寸法	不明
保証	5 年間
動作温度	0° C ～ 40° C (使用範囲は、15° C ～ 35° C)
保存温度	-20° C ～ 60° C
動作湿度	8% ～ 70% (結露なきこと)
保存湿度	5% ～ 95% (結露なきこと)
動作高度	3,000 m

保証規定

BARCO MID 一般保証条件

2008 年 1 月 1 日から適用

条項 1: 製品保証

Barco nv, Medical Imaging Division では、本機器が保証期間中、または保証延長プログラムの特定期間の間、製造中あるいは材質上の欠陥がないことを保証します。

ハードウェア : Barco は本契約書に基づいて配送する製品が (i) 配送日現在において効力のあったその仕様に適合すること、また (ii) 材質上あるいは製造上の欠陥がないことを保証します (「保証」)。

ソフトウェア : Barco は、Barco が記述したソフトウェアが引渡日に効力のあった仕様に従って機能することを保証します。ソフトウェアは、バグとエラーに感染しやすくなっています。Barco は、「現状通り」でお客様に提供したソフトウェアについて保証することはなく、また製品の支障のない動作またはエラーのない動作を保証しません。

Barco の製品取扱説明書で指定されていない限り、または Barco とお客様の間の合意がない限り、保証期間は以下のようになります。

(a) ハードウェア : Barco のインボイス日から 12ヶ月間。

(b) ソフトウェア : Barco のインボイス日から 3ヶ月間。

Clause 2 の規定にもかかわらず、本保証に基づく材質上と製造上の両方、またはいずれか一方の欠陥の修理と交換は以下で規定される契約条項に従うものとします。

1.1 保証に基づく請求は、欠陥または故障が最初に発見または認識された日付から 8 日以内に、書面にて Barco まで通知する必要があります。機器欠陥の発生時、お客様は電話、FAX、E メールで Barco nv, MID カスタマーサポートセンター（または認定サービスセンター）に連絡し、カスタマーサポート担当者に問題が生じた機器のモデル番号、シリアル番号を含む、直面した問題の詳細をご提示ください。

1.2 カスタマーサポート担当者が、お客様が直面した問題を診断し、どう対処すべきかをアドバイスいたします。カスタマーサポートでは、欠陥機器または部分組立品を、修理のために Barco nv または MID カスタマーサポートセンター（または認定サービスセンター）へ返品するよう依頼する場合がございます。いかなる場合でも、お客様は Barco の書面による事前承認なしに欠陥製品または製品の部品を返品することはできません。

Barco への欠陥製品の返品が承認されると、Barco はお客様に RMA（商品返品確認）を発行いたします。

お客様は、特記がある場合を除き、www.barcomedical.com 一覧に掲載されている最寄りの Barco nv, MID カスタマーサポートセンター（または認定サービスセンター）に RMA 番号を申し出てください。

該当する欠陥製品または部品の出荷に係る梱包、輸送、保険の片道費用は、お客様の負担となります。該当する修理済みあるいは交換製品または部品の出荷に係る梱包、輸送、保険の片道費用は、Barco の負担となります。

1.3 お客様は、運賃前払いで欠陥機器または部分組立品を指定の RMA 番号を明記の上、元の梱包状態で Barco nv, MID カスタマーサポートセンター（または認定サービスセンター）へご返送ください。

1.4 使用される交換部品は、新品、または機器のリビジョンレベルの新しい部品と同等のものとします。交換 LCD パネルは、新品または同様の実行時間となります。交換部品の保証期間は、機器本来の保証期間と同時に終了します。この取り決めに従って交換された、Barco nv, MID（または認定サービスセンター）に返品されたすべての部品は、Barco nv, MID (または認定サービスセンター) の所有物となります。

1.5 修理が完了した機器は、Barco nv, MID の負担する普通便にてお客様にお返しいたします。

1.6 Barco nv, MID は、Barco から出荷後、90 日以内に故障した製品につきましては、診断用マルチヘッドディスプレイ構成の場合、色合わせをしてから、新品と交換いたします。

Barco は、書面によるお客様の通知を受領後、2 営業日以内に新しい交換製品を発送するようにしております。

条項 2: 保証先行条件および保証適用外項目について

A. 保証は、製品または製品の部品について、以下の範囲まで適用するものとします。

(i) Barco により指定された状態（屋根で覆われた安全な場所、最小及び最大温度範囲内、最大湿度範囲内など）、もしくは、このタイプの製品において一般的に許容される状態で輸送され、元の梱包で常時保管されていたもの。

(ii) Barco の指示したとおりに、もしくは、少なくともこのタイプの製品において一般的に許容される注意と警告の慣習に従い、注意を払って常時取り扱われていたもの。

(iii) (製品が Barco あるいは認定下請け業者によって据え付けられていない範囲の場合）Barco の説明と指示のとおりに厳密に取り付けられていたもの。

(iv) 不正なアクセス、改変、改造、修理またはその試行の対象となっていないもの。

(v) 常時、意図する用途の範囲で「通常使用」されており、該当の製品の操作説明書に記載された操作説明の指示に従って操作され、誤使用、乱用、損傷がないもの。該当する製品の「通常使用」とは、Barco により意図される、および / または推奨される問題における、普通の、日常的な使用方法を意味します。

(ii) Barco の指示したとおりに、もしくは、少なくともこのタイプの製品において、一般的に許容される間隔および様式で常時維持されていたもの。

B. ここに説明する保証には、以下を含まないものとします。

2.1 Barco nv, MID あるいはその正規代理店、または卸売業者以外の出所から調達し、Barco nv, MID が提供する機器にお客様または第三者によって統合されたハードウェアまたはソフトウェアアイテム。

2.2 Barco nv, MID により明白にサポートされていないホスト構成。

2.3 Barco nv, MID、または第三者からそれらを取得したかどうかに関係なく、システムにインストールされているすべてのソフトウェア。Barco nv, MID により供給されるソフトウェアで、本契約のもとに保証されるハードウェアの異常の原因であると証明されたものは例外とします。

2.4 通常の損耗、埃の多い環境または過度の温度条件下での使用、乱暴な取り扱い、無断修理や交換、適切なメンテナンスの欠如、損傷・修正・除去したシリアル番号、外装的改修など、仕様の限度を越えた状況下で使用されたもの。

2.5 以下を含むが、これに限定されない定義上損耗の対象となる消耗品 1 または特定部品の修理あるいは交換。

a. CRT、LCD パネル

b. バックライトの実行時間 2 がバックライト保証耐用時間 3 を越え、工場較正輝度 4 で使用したときの診断用 LCD ディスプレイのバックライト

例 1.

- ディスプレイは 1 日 8 時間、すなわち 1 年間で +/-2.920 時間使用されます。
- ディスプレイシステムは 5 年間の保証期間が適用されます。
- 該当モデルのバックライト保証耐用時間は、17,000 時間です。
- 4 年以降は工場較正輝度に達しないため、保証耐用時間に +/-11.680 時間が適用されます。
- 結果 : バックライトの交換には、保証が適用されます。

例 2.

- ディスプレイは 1 日 24 時間、すなわち 1 年間で 8,760 時間使用されます。
- ディスプレイシステムは、5 年間の保証プログラムが適用されます。
- 該当モデルのバックライト保証耐用時間は、17,000 時間です。
- 2.5 年以降は輝度工場較正値に達せないため、保証耐用時間に +/-21.900 時間が適用されます。
- 結果 : バックライトの交換は保証適用外となります。

(1): 「消耗品」は、ユーザーによって交換することができます。

(2): 「バックライト実行時間」とは、(スクリーンセーバーの使用を含む) 画像がスクリーンに映し出された合計時間のことです。この値は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) ボタンを押すと表示されます。

(3): 「バックライト保証耐用時間」とは、輝度事前設定値、すなわち工場較正輝度が規定の診断用ディスプレイモデルによって提供されるバックライト実行時間の数値です。この数値は、各ディスプレイの保証証明書に印刷されており、最寄りの Barco 営業所にリクエストできます。

(4): 「工場校正輝度」とは、規定の診断用ディスプレイモデルが製造工程中に校正される典型的な輝度値です。この数値は、各ディスプレイの保証証明書に印刷されており、最寄りの Barco 営業所にリクエストできます。

c. プロジェクターのランプ、光学コンポーネント

d. 交換理由 :

i. 以下が原因による残像 :

- スクリーンセーバーやディスプレイ パワー マネージメント システム (DPMS) を ユーザーマニュアルで説明されているとおりに正しく使用していない
- 同一の画面領域に静止画像を長時間表示させている

ii. 製品の仕様に示された合計許容数値よりも低い欠損ピクセル数

iii. 製品の仕様に示された合計許容差異値よりも低い色温度の差異

iv. マルチヘッド構成のすべてのディスプレイを同率で使用しないことから生じる色温度の差異。

v. 製品仕様範囲内である LCD 輝度の均一度または LCD テクノロジー特有の輝度均一化性能

Barco nv, MID は、いかなる消耗品についても最小寿命あるいは性能を保証しません。

2.6　電源コード、リモートコントロールなどの可動部品の交換

2.7　作動現場における、製品の分解および据え付け費用、修理作業および移動に係る作業員の出張旅費、作動現場への移動時間費用。

2.8　事故、過失（システムファイルとライセンスソフトウェア製品ファイルの削除など、これに限定しない）、誤用、サーキットの故障または変更、火災、水害、雷、稲妻による損傷、電源異常または変動、通信回線の中断または不可抗力、または機器に無関係のその他すべての理由。

2.9　修理された機器に関連して、お客様に依頼された特定のサービスや行為すべて。

2.10 動作可能と思われる返送製品の診断費用には保証が適用されません。個々の状況に応じて、Barco 単独の判断で、お客様に費用を負担していただきます。

条項 3: お客様の義務について

お客様は、保証を前提とするその条件の Barco nv, MID の履行義務の部分対価として、以下の責任を負う義務があります。お客様が本段落の義務を果たさない場合、Barco nv, MID の履行義務を許可しないものとします。

3.1　お客様は Barco nv, MID の職員を安全ではない作業状況にさらすことのないようにしてください。

3.2　不正なメンテナンス、またはお客様、またはその職員、エージェント、従業員、担当者による修理の結果から必要となった保証下での機器の修理は、お客様に追加料金、費用を負担していただきます。

3.3　お客様には、意図された環境で Barco nv, MID 機器を設置する責任があります。機器が、一時的であれ、その仕様外の環境で使用された兆候があった場合、Barco nv, MID は保証修理を行わず、保証契約を破棄する権利があります。この点において、Barco nv, MID が取った行動に関して、お客様に対して通常価格で請求できるものとします。

条項 4: 保証期間中の救済手段について

(a)　ハードウェア : 保障期間中に製品または製品のいかなる部品であっても、いずれの保証事項を満たさない場合、お客様のリクエストに応じて、Barco は単独の選択および費用で速やかに 20 営業日以内に、下記のいずれかを履行します。(i) 該当の製品または部品の修理または修正、あるいは、(ii) 条項 1 に記載の条件に従って製品または供給部品あるいはコンポーネントの交換。交換部品は元の部品と最低限、機能的に同等であること。交換された製品、部品とコンポーネントの両方、またはいずれか一方は、Barco の所有物となり、Barco の要求があればお客様が、Barco の費用で Barco に返品するものとします。

(b)　ソフトウェア : Barco の唯一の義務は、ソフトウェアを改正するかソフトウェアの代替バージョンを提供することによって、ソフトウェアの実質的な機能不良を（技術的および合理的に可能な範囲まで）修正することです。

(c)　保証期間中の修理または交換には、材料費用および労働費用が含まれます。

条項 5: 保証の放棄について

BARCO NV, MID は、暗示的な商業上の可能性の保証、特定用途に対する適合性を含む、それが明示的であるか黙示的であるかを問わず、一切の保証をしないものとします。

条項 6: 責任の制限について

これらの保証条件で定義されている救済措置は、この記載に従って Barco の保証違反の場合、お客様の唯一かつ排他的な救済と Barco の唯一かつ排他的な救済を規定するものとします。

BARCO NV, MID は、いかなる状況においても、お客様やいかなる第三者に対しても、有形または無形財産、機器へのダメージまたは損失、利益または収入、資本コスト、代替品購入コストの損失、サービス不通に対するユーザーのお客様のクレームなどの（ただし、これらに限定されません）直接的、二次的、特別の、または必然的ダメージの責任を負わないものとします。この保証によってカバーされている、または保証されている製品またはサービスすべての製造、販売、納入、再販、設置、操作または使用の適合性に対する BARCO NV, MID の責任は、契約、怠慢、完全な不法行為、保証その他により生じるものかどうかを問わず、お客様単独のオプションと費用で製品あるいはいかなる部品の修理または交換に限定されるものとします。BARCO の責任は、そのような責任に基づく商品やサービス項目の価格を越えないものとします。

条項 7: 不可抗力

本契約の履行が不可抗力により妨げられた場合は、その範囲内で両者とも本契約の下での義務の履行を免除されるものとします。この条項の目的における「不可抗力」とは次を意味します（しかしこれらに限定されません）。労使紛争、火災、動員、徴用、禁輸措置、通貨交換禁止、輸送手段の欠如、エネルギー使用規制、一様に両者の管理を越えた、その義務の履行を妨げる状況すべて。

条項 8: 一般条項

8.1　お客様は、Barco nv, MID 製品を含むすべてのソフトウェアと電子装置は、起こりうる誤差、機械故障または電気的不全が発生する場合があることを理解し、その人物の怪我や物的損害が製品の欠陥や誤差から生じたかどうか、不適切なアプリケーションまたは適切なバックアップと / またはその他の安全予防措置なし

にそれらを信用すべきではないことを認識しているものとします。

8.2　その合理的な管理能力を超えた理由による機械の故障やそのような理由からサービスやメンテナンスが行えなかった場合に対し、Barco nv, MID には責任が生じないものとします。

(このページは空白です)

(このページは空白です)

(このページは空白です)

K5902015-06
9 月 2011 日

CE
0120

Barco n.v.
President Kennedypark 35
8500 Kortrijk
Belgium (ベルギー)
www.barco.com